

P=ポイント

国 内		県 内	
4日	<b>子どもの人口1,401万人、43年連続減少</b> 総務省の人口推計によると、2024年4月1日時点の子どもの数(15歳未満人口)は1,401万人と、43年連続で減少し、比較可能な1950年以降の最少記録を更新。	6日	<b>コロナ5類移行後初のGW、県内観光地賑わう</b> 新型コロナの5類移行後初めてのゴールデンウィーク(GW)は、県内の観光地や商業施設などは大勢の観光客らで賑わった。コロナ禍で減少していたインバウンド(訪日客)も増加。
10日	<b>2024年3月家計調査1.2%減、13カ月連続マイナス</b> 2024年3月の家計調査で、2人以上世帯の消費支出は31万8,713円と、物価変動の影響を除いた実質で前年同月比1.2%減少。マイナスは13カ月連続。	7日	<b>宮崎市検討委員会が宿泊税導入検討の初会合</b> 宮崎市は、ホテルや旅館の宿泊料金に上乗せして徴収する「宿泊税」に関し、検討委員会を初開催。今後の導入に向けて他市の導入状況や多様な視点から検討を進める。
10日	<b>「国の借金」1,297兆円で過去最大</b> 財務省は、国債と借入金、政府短期証券を合計した「国の借金」が2024年3月末で1,297兆1,615億円になったと発表。前年同期比26兆6,625億円増加し、8年連続で過去最高。	8日	<b>県内企業倒産3件、負債総額1億3,600万円</b> 民間信用調査機関3社によると、2024年4月の県内企業倒産件数(負債額1千万以上)は3件で、負債総額は1億3,600万円。物価高や人件費上昇を受け、夏場にかけての件数増加が懸念。
10日	<b>2023年度の経常黒字、25.3兆円と過去最高</b> 2023年度の国際収支統計(速報)で、海外とのモノやサービスなどの取引状況を表す経常収支の黒字は25兆3,390億円と過去最高。資源価格の高騰が一服し、貿易収支の赤字が改善したことが要因。	8日	<b>2024年度、「増収増益」を見込む企業20.0%</b> 帝国データバンク宮崎支店の2024年度業績見通しに関する調査で「増収増益」を見込む県内企業は前年比1.8%増の20.0%と、3年ぶりに増加。他方「減収減益」は7.5%減の24.3%に縮小。
15日	<b>4月の訪日外客数304万人、2カ月連続で300万人超</b> 日本政府観光局(JNTO)によると、2024年4月の訪日外客数は304万2,900人と、前年同月比56.1%増加。東南アジアや中東地域からの訪日客数が増加し、2カ月連続で300万人を突破。	10日	<b>セガサミー、「フェニックス・シーガイア・リゾート」売却発表</b> セガサミーホールディングス(HD)は、本県で運営する「フェニックス・シーガイア・リゾート」を米国投資ファンド「フォートレス・インベストメント・グループ」に売却することを発表。
16日	<b>2024年1～3月GDP、年率2.0%減少</b> 2024年1～3月期の国内総生産(GDP、季節調整済)速報値は、物価変動を除く実質で前期比0.5%減、年率換算2.0%減と2四半期ぶりのマイナス。自動車の生産停止で設備投資や輸出が減少した。	24日	<b>本県推計人口103万4,090人、前月比140人減少</b> 本県の5月1日時点の推計人口は103万4,090人で、前月比140人減少、世帯数は47万4,870世帯で、前月比2,235世帯増加。市町村別の前年同月比では、都城市のみ人口が増加。
22日	<b>長期金利、11年ぶり1%台に上昇</b> 新発10年物国債利回りは、2013年以来11年ぶりに1%台に上昇。日銀が近く金融政策を修正するとの観測で金利先高観が高まり、国内債券市場で幅広い年限の国債利回りが上昇。	25日	<b>「みやざきマンゴーの日」開催</b> 「みやざきマンゴーの日」の5月25日、宮崎市の宮崎駅前広場で、JA宮崎経済連等の主催による県産完熟マンゴーをPRするイベントと販売会が開催。会場は大勢の人で賑わった。
24日	<b>消費者物価指数(生鮮食品を除く)2.2%上昇</b> 2024年4月の消費者物価指数(CPI、2020年=100)は生鮮食品を除く総合指数が107.1となり、前年同月比2.2%上昇。エネルギーが上昇に転じ全体を押し上げた。	29日	<b>交通系ICカード、県内7駅に導入検討</b> 県と宮崎市、新富町は、新たにJR日豊線1駅とJR日南線6駅で交通系ICカードのサービス開始に向けJR九州と協議を進めていると発表。地域振興やビジネス、観光客の利便性向上に期待。